

主な訪問内容（1月27日時点）

2月18日（土）

① 在パラオ日本国大使館訪問

山田 俊之 在パラオ日本国大使を表敬訪問し、パラオ情勢等に係る情報収集を行うとともに、今後の三重県とパラオ共和国との関係発展に向けた意見交換を行います。

② パラオ国際サンゴ礁センター訪問

パラオ唯一の水族館を併設した海洋生物研究所であるパラオ国際サンゴ礁センターを訪問し、同センターと日本国内で唯一、ジュゴンを飼育している鳥羽水族館との連携協定締結式に出席します。鳥羽水族館は、昭和51年（1976年）から、パラオでの調査や人材交流を行っており、今回、海洋生物の調査研究や海洋生態系の保護活動に向けた連携に関する協定を締結します。

※鳥羽水族館とパラオ国際サンゴ礁センターの連携協定に関するお問い合わせは、鳥羽水族館企画広報室（電話 0599-25-2801）までお願いします。

2月19日（日）

③ 「三重県・パラオ共和国交流ウォーカソン」開催

三重県訪問団とパラオ国民との交流事業の一つとして、参加者の環境保護意識の向上及び健康増進に資するとともに、本県とパラオ共和国との友好関係の深化及び本県訪問団とパラオ国民の交流の発展をめざすことを目的に、交流・クリーンアップ活動イベント「三重県・パラオ共和国交流ウォーカソン」を開催します。「ウォーカソン」とは、ウォーキングとマラソンを合わせた造語であり、パラオでは、道路や海岸のクリーンアップ活動と合わせてよく実施されているウォーキングイベントのことです。

④ 在パラオ日本国大使館主催「日本フェア」への参加

在パラオ日本国大使館が例年開催している日本文化を発信するイベント「日本フェア」に参加し、パラオの一般の方々に対して、三重県の文化・観光等のPR、水産高校と姉妹提携校であるパラオ高校との交流や鳥羽水族館の取組についての紹介を行います。

(参考) 在パラオ日本国大使館主催「日本フェア」について

例年、パラオ国民に日本文化を紹介することを目的として、在パラオ日本国大使館が主催しており、現地の日本語補習校や日本からのボランティアによるパフォーマンスが行われます。同大使館が主催する日本フェアは、今回で7回目となり、三重県の参加は今回が初めてとなります。

主 催：在パラオ日本国大使館

共 催：三重県

場 所：ガラマヨン文化センター

来場予定者：500～600人

当県関連の主な実施内容：

- ・ 三重県観光・物産紹介、忍者衣装体験、手裏剣投げ体験
- ・ 水産高等学校紹介映像上映、パネル展示
- ・ 鳥羽水族館紹介映像上映、パネル展示
- ・ 映画「うみやまあひだ」上映会

2月20日(月)

⑤ パラオ共和国大統領訪問【調整中】

トミー・エサン・レメンゲサウ・ジュニア パラオ共和国大統領を表敬訪問し、青少年交流やパラオの自然環境保護など今後の三重県とパラオ共和国との交流に向けた意見交換を行います。

(参考) ○パラオ共和国大統領プロフィール

トミー・エサン・レメンゲサウ・ジュニア 男性

生年月日：1956年2月28日

出身地：パラオ共和国コロール州

経 歴：パラオ共和国上院議員

パラオ共和国副大統領

第7代パラオ共和国大統領

(2001年1月～2009年1月)

第9代パラオ共和国大統領

(2013年1月～現職)

○前大統領プロフィール

クニオ・ナカムラ 男性

生年月日：1943年11月24日

出身地：パラオ共和国コロール州

経 歴：第6代パラオ共和国大統領

(1993年1月～2001年1月)

⑥ 県立水産高等学校実習船「しろちどり」訪問

県立水産高等学校は、20年前から航海実習においてパラオ寄港を続けており、姉妹提携校であるパラオ高校との交流に取り組んできました。平成28年度第5次航海実習において、平成29年2月16日から21日までの日程（予定）でパラオを寄港中の「しろちどり」を訪問し、船内を視察します。

(参考)

○県立水産高等学校の平成28年度第5次航海実習について

航海日程：平成29年1月24日から3月7日まで

乗船者：計50名（本科海洋コース2年生16名、漁業・機関専攻科1年生11名、
ほか船員及び教員）

○県立水産高等学校概要

所在地：志摩市志摩町和具2578

連絡先：電話0599-85-0021

設置学科：海洋・機関科（定員40名）、水産資源科（定員40名）

漁業専攻科（定員10名）・機関専攻科（定員10名）

生徒数：251人（平成28年5月1日現在）

※航海実習等県立水産高等学校に関するお問い合わせは、同校（電話0599-85-0021）まで
お願いします。